機能ID	機能名称			機能要件	実装区分			適合基準日
	大分類	中分類	小分類		指定都市	中核市	一般市区町村	
0010379	9 バッチ	9.1 他システムとの連携を除くバッチ処理	―	バッチ処理の実行（起動）方法として、直接起動だけでなく、年月日及び時分、毎日、毎週〇曜日、毎月XX日、毎月末を指定した方法（スケジュール管理による起動）が提供されること。スケジュール管理にソフトウェア製品を利用する場合は名称、メーカー、バージョン等について、発注者からの要求があった場合、提示すること。	◎	◎	◎	令和8年4月1日
0010380	9 バッチ	9.1 他システムとの連携を除くバッチ処理	―	バッチ処理の実行時は、前回処理時に設定したパラメータが参照されること。 なお、前回設定のパラメータは、一部修正ができること。 修正箇所については、修正した旨が判別し易くなっていること。	◎	◎	◎	令和8年4月1日
0010381	9 バッチ	9.1 他システムとの連携を除くバッチ処理	―	全てのバッチ処理の実行結果（処理内容、処理結果、処理時間、処理端末名、正常又は異常の旨、異常終了した際はOSやミドルウェア等から出力されるエラーコード等）が出力されること。また、異常終了した場合の警告を住民記録システム内又は自治体が別途利用する他の通報システムに連携できること。	◎	◎	◎	令和8年4月1日
0010382	9 バッチ	9.1 他システムとの連携を除くバッチ処理	―	例えば6.1（統計）で記載した統計についてバッチの実行結果から一連の作業で最終的な提出物をXLSX形式等で作成する場合等には、自動実行する仕組みを用意すること。	◎	◎	◎	令和8年4月1日
0010383	9 バッチ	9.1 他システムとの連携を除くバッチ処理	―	9.2（抑止対象者）以降に特に留意すべき処理について記載しており、これらの処理についてはバッチ処理を可能とすること。	◎	◎	◎	令和8年4月1日
0010384	9 バッチ	9.2 抑止対象者	―	抑止対象者一覧を作成できること。また、抑止の種類等による抽出、項目による並べ替えができること。	◎	◎	◎	令和8年4月1日
0010385	9 バッチ	9.2 抑止対象者	―	指定都市においては、一覧表は行政区単位で分割できること。	◎	―	―	令和8年4月1日
0010386	9 バッチ	9.2 抑止対象者	―	一覧表を支所単位で分割できること。	〇	〇	〇	―
0010387	9 バッチ	9.3 除票用データベースへの移行	―	5年を経過した除票について、住民記録システムデータベースから除票用データベースへ移行し、同時に住民記録システムデータベースから削除できること。	◎	◎	◎	令和8年4月1日
0010388	9 バッチ	9.3 除票用データベースへの移行	―	1年に1回以上、市区町村ごとに繁忙期を避けて、5年を経過した除票について、バッチ処理により、除票用データベースへの移行作業を行うこと。	◎	◎	◎	令和8年4月1日
0010389	9 バッチ	9.4 成年被後見人	―	成年被後見人の転出があった場合、転入通知受領後、転入地市区町村へ発送する通知書を作成できること。	◎	◎	◎	令和8年4月1日
0010390	9 バッチ	9.4 成年被後見人	―	成年被後見人について、一覧表を作成できること。	×	×	×	―
0010391	9 バッチ	9.5 住民基本台帳の一部の写し（閲覧用）	―	抽出条件を指定（例：支援措置対象者を除く、ランダム順位）した住民基本台帳の一部の写し（閲覧用）の作成ができること。	◎	◎	◎	令和8年4月1日
0010392	9 バッチ	9.5 住民基本台帳の一部の写し（閲覧用）	―	リストについては、PDF又はCSV形式のテキストファイルで出力ができること。	◎	◎	◎	令和8年4月1日
0010393	9 バッチ	9.6 無作為抽出・条件指定抽出	―	性別、生年月日、地区、抽出人数、日本人・外国人の別を指定して住民を無作為抽出することができること。	◎	◎	◎	令和8年4月1日
0010394	9 バッチ	9.6 無作為抽出・条件指定抽出	―	対象者の宛名シールを出力することができること。	◎	◎	◎	令和8年4月1日
0010395	9 バッチ	9.7 住所一括変更	―	区画整理・住居表示等対象者を抽出し、データ更新の一括処理ができ、その後、当該情報を住基ネットや他業務システムに連携できること。	◎	◎	◎	令和8年4月1日